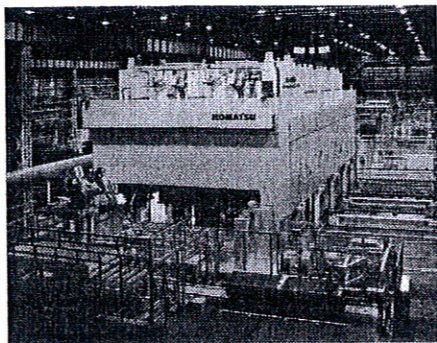


コマツ産機、 トヨタ自動車

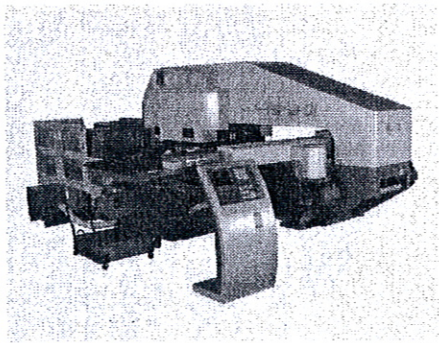
ACサーボダイクッション付大型サーボプレスラインによる自動車ボディパネルの加工



サーボダイクッション付き大型サーボプレスをはじめ計4台のプレスでタンドムを構成。サーボモーター駆動機構とサーボ制御技術で最適なスライドモーション、ダイクッション圧力を制御してパネル品質を向上した。約1.5倍の高生産性と約40%の省エネルギー化、省スペース化、低騒音化を図り、トヨタ自動車の「革新プレスライン」に結実した。

村田機械、コマツ産機、 トキワエンジニアリング

サーボパンチプレスとサーボプレスブレーキによる電子機器フレームの溶接レス加工



繰り返し精度の高いサーボタレットパンチプレスとサーボプレスブレーキを用いて成形、ハーフシャー、パーリング、曲げの各加工を安定して実施し、はめ合わせ固定できる。従来の複数部材による溶接組み立て構造を一枚板の部材から溶接レスで製作できる。また素材をアルミニウム材に変更してメッキレス化を図り、加工時間短縮と環境負荷低減を実現した。

日本鍛圧機械工業会（日鍛工）は鍛圧塑性加工技術の総合力を顕彰する「MF技術大賞」受賞製品を決定した。応募総数13件からコマツ産機（金沢市）とトヨタ自動車の「ACサーボダイクッション付大型サーボプレスラインによる自動車ボディパネルの加工」など3件を選んだ。同技術大賞は鍛圧機械メーカーとユーザーなどの連

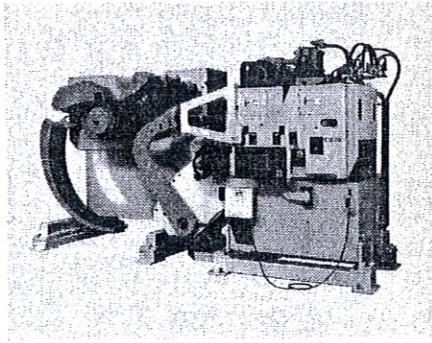
日鍛工

合体を表彰するもので、今回が1回目。表彰式は2011年1月12日に東京・芝公園の芝パークホテルで開く。受賞製品は11年8月に開く「プレス・板金・フォーミング展（MF・Tokyo 2011）」（日本鍛圧機械工業会／日刊工業新聞社主催）で披露する。受賞製品、受賞会社など詳細は以下の通り。

「MF技術大賞」3件選定

アマダ、オリイメック、 サイバックコーポレーション

高精度ナックルリンクプレスによる高精度サイクロイドギアのプレス加工



順送型内で冷間鍛造する冷間鍛造順送金型を高精度・高剛性ナックルリンクプレスに搭載。厚板用レベラフィードも用いることで高精度サイクロイドギアの量産加工を実現した。従来の切削加工では時間がかかり、高コストなため量産品ではほとんど使用されていなかった。プレス加工に工法変換して大量生産を可能にした。コストも約10分の1に低減した。